



問い合わせ先

第二管区海上保安本部

広報・地域連携室

TEL: 022 - 363 - 0111

平成29年11月20日

第二管区海上保安本部

平成29年10大ニュースアンケートへのご協力をお願い

海上保安庁では毎年、その年に起きた海上保安庁関係の主な出来事について、本アンケートの結果を基に「10大ニュース」を決定し、12月に発表しています。

つきましては、別添の(「平成29年海上保安10大ニュースアンケート」(34項目)、「平成29年第二管区海上保安本部10大ニュースアンケート」(24項目))の中から皆様が『これは大きな出来事であった。』と思われる項目を、それぞれ10個以内で選択のうえ、該当する番号に印をご記入いただき、12月1日(金)までにFAX送信によりご回答いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

お問合せ・FAX送付先

第二管区海上保安本部

広報・地域連携室

TEL: 022 - 363 - 0111

FAX: 022 - 362 - 9640

(FAX: 022-362-9640)

平成29年第二管区10大ニュース アンケート

10個以内でお選び頂き、番号に をお願いします。

機関名

対象期間 平成28年11月～平成29年10月

番号	項目名	時期	概要説明
1	東日本大震災 行方不明者捜索続く	通年	第二管区海上保安本部では、平成23年3月11日以降、東日本大震災における行方不明者の捜索を継続して実施しています。
2	【青森、秋田、酒田】 木造船漂着事案	通年	H29.4月に秋田県男鹿市に木造船が漂着した他、二管区管内に複数の木造船が漂着した。
3	【二本部】 ママチャリで宮城県内の 漁協を訪問、海難防止活 動を実施	28.11	「漁船セーフティラリーみちのく2016」の実施にあわせ、宮城県内の主な漁協等をママチャリで訪問し、海難防止に係る周知・啓発活動を実施した。
4	【二本部】 福島県沖を震源とする地 震が発生し、太平洋沿岸 部の広範囲に津波警報発 表	28.11	11月22日午前5時59分に発生した、福島県沖を震源とする地震に伴い、東北から関東までの太平洋沿岸部にかけて津波警報が発表された。 第二管区海上保安本部では、地震災害対策本部を設置し、 <u>巡視船艇・航空機による被害状況等の調査を実施</u> 。地震・津波による犠牲者はなかったが、宮城県東松島市等の漁港では、 <u>係留中の小型船26隻が転覆した</u> 。
5	【宮城】 中国漁船無許可漁業容疑 で現行犯逮捕	28.11	11月26日、宮城県金華山沖東南東約270キロメートルの海上（排他的経済水域内）において、許可なく漁業を行ったとして、中国漁船「FU YUAN YU686」の <u>一等航海士を現行犯逮捕した</u> 。
6	【宮城】 防災訓練で海上保安庁 “初”ドローンを使用 塩釜地区防災合同訓練	28.11	宮城海上保安部、陸上自衛隊、塩釜警察署、塩釜消防本部で構成する塩釜地区防災対策委員会は、熊本地震災害現場で有効活用されたドローンに着目し、救命浮環を搬送する訓練等を実施した。 <u>防災訓練でドローンを海上保安庁職員が実際に操縦するのは全国初であった</u> 。
7	【二本部】 被災港湾21海域の海図改 訂が終了	29.2	第二管区海上保安本部は被災した港湾について計画的に測量を行い、海図の改訂作業を進めてきた。 2月24日に山田港、久之浜港、四倉港、江名港、中之作港を含む海図3図を改訂したことにより管内の大縮尺海図21海域の改訂作業が終了した。
8	【二本部・青森・八戸・ 秋田】 入港遅延船大間崎沖で発 見 乗組員捜索するも2名死 亡、2名行方不明	29.2	八戸みなと漁協所属「第七十八正栄丸」（4名乗組み）が入道崎沖で連絡を取ったのを最後に、連絡が取れなくなった旨の連絡があり、巡視船艇・航空機等により捜索を行ったところ、第七十八正栄丸を青森県大間崎沖で発見した。特殊救難隊等により潜水捜索を実施し、船長及び甲板員を発見したが、死亡が確認された。残る2名については、依然行方不明のままである。
9	【八戸】 八戸保安部が全国 “初”、「簡易型AIS普 及促進モデル漁業協同組 合」を指定	29.2	八戸海上保安部は、漁船の衝突海難防止として取り組んでいる簡易型AIS普及活動の一環として、青森県六ヶ所村の泊漁協、八戸市の八戸機船漁協を全国で初めて「簡易型AIS普及促進モデル漁業協同組合」に指定した。

番号	項目名	時期	概要説明
10	【二本部】 巡視船おしかの錨、塩釜導灯 新たな務め	29.3	東日本大震災時に津波を乗り越え不明者の捜索にあたった「巡視船おしかの錨」と、長年にわたり仙台塩釜港の案内役を務めてきた「塩釜導灯」の前灯部分を塩釜市に譲与し、同市にある「千賀の浦緑地野外施設」に展示されることとなった。
11	【宮城】 第一信盛丸転覆、1名死亡、2名行方不明	29.4	第一信盛丸が気仙沼市唐桑半島沖で転覆している状態で発見され、巡視船艇・航空機による捜索を行うも、乗組員1名の死亡が確認され、残る2名が行方不明のままとなっている。
12	【秋田】 二管区“初”の女性船長	29.4	当管区初の女性船長が秋田海上保安部に誕生した。
13	【二本部】 宮城県栗原市山林火災対応	29.5	5月8日、宮城県栗原市で発生した山林火災について、宮城県から要請があり、航空機による被害状況調査を行った。
14	【釜石】 釜石市尾崎林野火災対応	29.5	5月8日、岩手県釜石市尾崎付近で発生した林野火災について、釜石市から海上からの放水要請を受け、巡視船艇による放水作業を実施した。
15	【釜石】 恋する碁石埼灯台に2日間で3万人来場	29.5	大船渡市において、「碁石海岸観光まつり」が開催される中、一般社団法人・日本ロマンチスト協会と日本財団が「恋する灯台」に認定している碁石埼灯台において、制服試着などのイベントを実施した。まつりには2日間で約3万人もが来場した。また、多数のカップルが制服を着て「恋する灯台」と写真に納まっていた。
16	【石巻】 ライフジャケット着用人数世界記録にチャレンジ! 救命胴衣着用プロジェクトに参加	29.5	ライフジャケットの重要性を広め、水辺の事故の減少につなげるイベント「READY SET WEAR IT!」(公益財団法人マリンスポーツ財団主催)が、国内外各地で一斉に開催され、石巻市中瀬公園で開かれた。本イベントの中で、24時間以内にライフジャケットを着用した人数の世界記録に挑戦する企画があり、石巻保安署が、海保ブースを設置し、救命胴衣着用を呼び掛ける等して、約400人が着用した。
17	【二本部】 過去最大の押収量 金塊206キロ密輸で、青森県むつ市船籍の小型船乗組員を逮捕	29.6	平成29年5月31日、第二管区を含む海上保安庁、警察及び税関の三機関合同捜査本部は、佐賀県唐津市の名護屋漁港において、金塊約206キロ(約10億円相当)を小型船で密輸した乗組員8人を関税法違反(無許可輸入)容疑で逮捕した。日本の金密輸事件では過去最大の押収量となった。本事件は、青森県むつ市船籍の小型船が使用され、逮捕者には同市に居住する者3名が含まれており、第二管区は第七管区等と連携して捜査に当たった。
18	【酒田】 酒田保安部“初” 海難救助の現場を実体験	29.7	酒田海上保安部では、通常行っている職場体験学習に加え、臨場感のある現場を体験してもらうため、「海難救助」をカリキュラムに組み込み、中学生らに体験してもらった。
19	【二本部】 青森鰺作埼沖・津軽海峡の領海で初めて中国公船の領海通航を確認	29.7	7月17日に中国公船2隻が、鰺作埼沖及び津軽海峡の日本の領海を通航。海上保安庁は中国公船に対し「日本の領海における無害通航に当たらない航行は認められない」との警告を発し、巡視船などによる警戒監視を実施。本海域での中国公船による領海通航は初めてである。
20	【二本部】 43年ぶりに酒田港を広範囲に測量	29.7	酒田港は、近年、コンテナ貨物取扱量が飛躍的に伸びる等、入港船舶が増加していることから、酒田港への出入港がより安全に行え、海図利用者の利便性も向上できるよう広範囲にわたる測量を43年ぶりに実施した。

番号	項目名	時期	概要説明
21	【秋田】 灯台と郷土芸能の魅力をPR 入道埼灯台まつり	29.8	8月19日、20日の2日間、男鹿市のシンボルである入道埼灯台を会場として、地元高校生による郷土芸能の披露、灯台の一般公開や日没後のライトアップ等を行い、合計1,715人の来場者が訪れた。
22	【二本部・青森】 青森県虻作埼沖海上自衛隊護衛艦搭載機墜落	29.8	8月26日、青森県虻作埼沖において海上自衛隊護衛艦搭載機が墜落したとの通報を受け、巡視船、航空機及び海上自衛隊所属護衛艦等により行方不明者の捜索を行った。1名は事故発生直後に救助されるも、2名は墜落機機内から発見し、死亡が確認され、残る1名については、行方不明のままである。
23	【二本部・福島】 相馬港が特定港へ	29.9	相馬港ではLNGタンカーや石炭運搬船が多数入出港することが見込まれることから、平成29年10月1日から港則法に規定する「特定港」に指定することとなった。
24	【二本部】 第二管区海上保安本部展示総合訓練を10年ぶりに開催	29.10	塩竈市の地域イベントである「2017みなと塩竈・ゆめ博」に協賛し、東日本大震災から6年を経過した東北の海の復興と地域の復興を後押しするため、10年ぶりに実施した。来賓や一般公募により訪れた市民、海上保安友の会会員ら計847名が乗船し、巡視船艇7隻・航空機2機と関係機関所属船艇3隻・航空機1機による各種訓練を展示し、乗船した方々を魅了した。

平成29年 海上保安庁10大ニュース アンケート

海上保安庁では毎年、その年に起きた海上保安関係の主な出来事について、本アンケートの結果を元に「海上保安庁10大ニュース」を決定し、12月に発表しています。

つきましては、皆様が『これは大きな出来事であった。』と思われる項目を以下の項目から10個以内でお選びいただき、該当する番号に 印のご記入をお願いいたします。

また、以下の項目以外の出来事で取り扱うにふさわしい項目または、海上保安庁に対するご意見、ご要望などございましたら、次ページの欄にご記入下さい。

なお、各項目の詳細内容については、別紙の「平成29年海上保安を巡る主な出来事(各事案概要)」をご参照下さい。

出来事対象期間：平成28年11月～平成29年10月

番号	出来事
1	外国漁船対応への期待膨らむ「規制能力強化型巡視船の1番船」が遂にデビュー
2	時代の変遷とともに変わりゆく 海保に初の女性の視点を重視した巡視船が就役
3	海上保安体制強化へ 関係閣僚会議において「海上保安体制強化に関する方針」が決定
4	沖縄県名護市沖でオスプレイが不時着
5	29年度海保関連予算案 過去最多の2106億円を計上
6	鍛錬の成果競う 警備救難全国大会を5年ぶりに開催
7	巡視船初の供与 「おき」「えりも」新天地マレーシアへ
8	PCGと更なる連携強化へ 中島長官比国を訪問し覚書
9	総力を結集 タンカー座礁で18人全員を救助
10	日本ライフセービング協会との事故防止対策等に関する協定を締結
11	1年5ヶ月ぶり 西之島再噴火を確認
12	女性職員の登用 ~女性初の海上保安部長等誕生~
13	運用管制官養成へ 海上保安学校に「管制課程」を新設
14	5年ぶりの大規模訓練 第三管区展示総合訓練を東京湾で実施
15	尖閣周辺でドローン飛行 海保が初めて視認
16	過去最大の押収量 金地金206キログラム密輸入で中国人等を摘発
17	スルー・セレベス海海賊等対策のため、巡視船・航空機をフィリピンに派遣
18	久米島沖に熱水噴出を伴う海底火山地形を発見
19	下田沖で米イージス艦とフィリピンコンテナ船が衝突
20	領海70平方キロ拡大 西之島の新海図発行

番号	出来事
21	日本初 伊豆大島西方沖に「推薦航路」設置
22	過去最大 ヘロイン 70 キログラムを押収
23	九州北部豪雨 孤立の 40 人へリで救助
24	中国公船の相次ぐ領海航行 海保が警告、監視
25	大和堆で北朝鮮漁船の違法操業 海保警告等に対応
26	30 年度概算要求 過去最高の 2303 億円を計上
27	ASEAN 地域訓練センター設立記念式典を開催
28	世界海上保安機関長官級会合を初開催
29	メキシコにおける地震被害に対する国際緊急援助隊・救助チームによる捜索・救助活動
30	黒潮 12 年ぶりの大蛇行を測量船で観測
31	第 6 回 MOX 燃料海上輸送に係る海上警備実施
32	モバイルコーポレーションチーム発足及びフィリピンへの初派遣
33	隠岐の島北方で中国漁船が転覆 海上保安庁が総力を挙げて対応
34	相次ぐ北朝鮮ミサイル発射に伴う対応

上記に掲げた項目の他、今年の主な出来事として取り扱うにふさわしい項目などございましたら、下欄にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。